学校番号	111

令和２年度　情報科

教科	（専）情報	科目	情報デザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報デザイン（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日常の中にあるデザインが人と人の関係や人とモノの関係がスムーズになり、社会が快適になることを理解し、自身の生活を振り返ってデザインとはないかを考えましょう。
・コンピュータを利用してデザインをすることが目的ではなく、デザインの中に込められた情報を意識していくことを大切にし、既製のデザインの情報を読み解いていきましょう。

2　学習の到達目標

・生活経験を通して、デザインによって伝わる情報は何かを考えて自分自身でそれをデザインしていくことができる。
・デザインの仕方の違いによって相手への伝わり方の違いを理解したうえで、デザインをすることができる。
・さまざまなデザインツールを活用してデザインすることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・デザインに込められた意図を読み取ろうとする態度 ・自らの生活経験を振り返ってデザインとは何かと考えようとする態度	・さまざまなデザインとその意図を読み取る力 ・表現したい事象を適切なデザインでかつ効果的に伝える力	・情報をデザインするためのデザインツールの基礎・基本的な技能の習得と、目的に応じた活用	・デザインを適切にするための知識とそれを活用して情報をデザインしていく方法の理解 ・デザインツールの操作方法の理解
評価方法	学習状況の観察 実習作品 自己評価	学習状況の観察 実習作品 相互評価	学習状況の観察 課題作品	学習状況の観察 実習作品 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	デザイン・情報・造詣の基礎	○デザインとは ○デザインがもたらすもの ○コミュニケーションのモデル	○	○ ○ ○		○ ○ ○	a:身の回りにあるデザインに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:デザインが与える影響について考えることができる。 c:既存のデザインをもとに情報機器を用いてデザインをすることができる。 d:デザインとは何か、デザインが表現する情報とはなにか理解している。	授業観察 実習作品
2学期	デザインと表現	○デザインの造形要素 ・形態 ・色彩 ・テクスチャ ・空間 ・時間 ○造形要素の構成 ・構成の基本と成る手法 ○表現	○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a:デザインの造形要素に関心をもち、適切なデザインをしようとしている。 b:造形要素の構成のあり方や役割を理解して活用することができる c:効果的にデザインするために、情報機器やデザインツールを活用することができる。 d:デザインの造形要素と、要素毎に与える影響の違いを理解することができる。	授業観察 実習作品 ワークシート
3学期	デザインの実際	○身近な生活のデザイン ・お菓子のパッケージをデザイン ・切手をデザイン ○情報の理解を助けるデザイン ・チラシのデザイン ・カレンダーのデザイン	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○		a:身近なデザインに関心をもち、利点と欠点を理解して取り組もうとしている。 b:実際にあるデザインから情報を読み取り、考えてデザインをすることができる。 c:既存のデザインから問題を解決するためにさまざまな表現方法を活用することができる。 d:効果的な表現方法を理解して、デザインすることができる。	授業観察 実習作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。